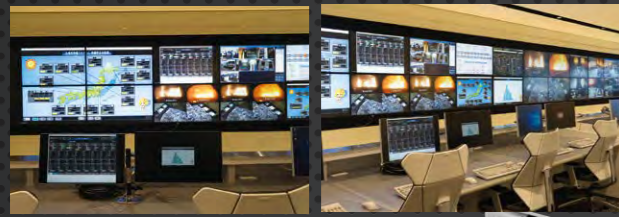


◆◆◆ 設備概要 ◆◆◆

1 オペレータデスク

オペレーションスタッフが各プラントの監視・操業支援を行うために使用します。



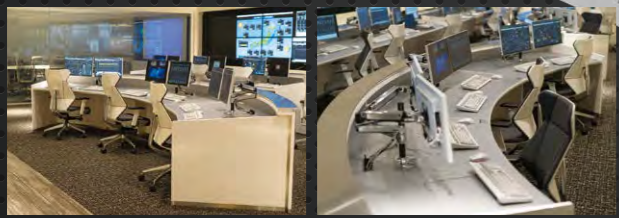
3 大型ディスプレイ

プラントのDCS画面及びITV（監視カメラ）映像をオンタイムで表示します。



2 マネージャーデスク

プラント全体の監視業務を行うための専用デスク。主に設計者が支援用に使用します。

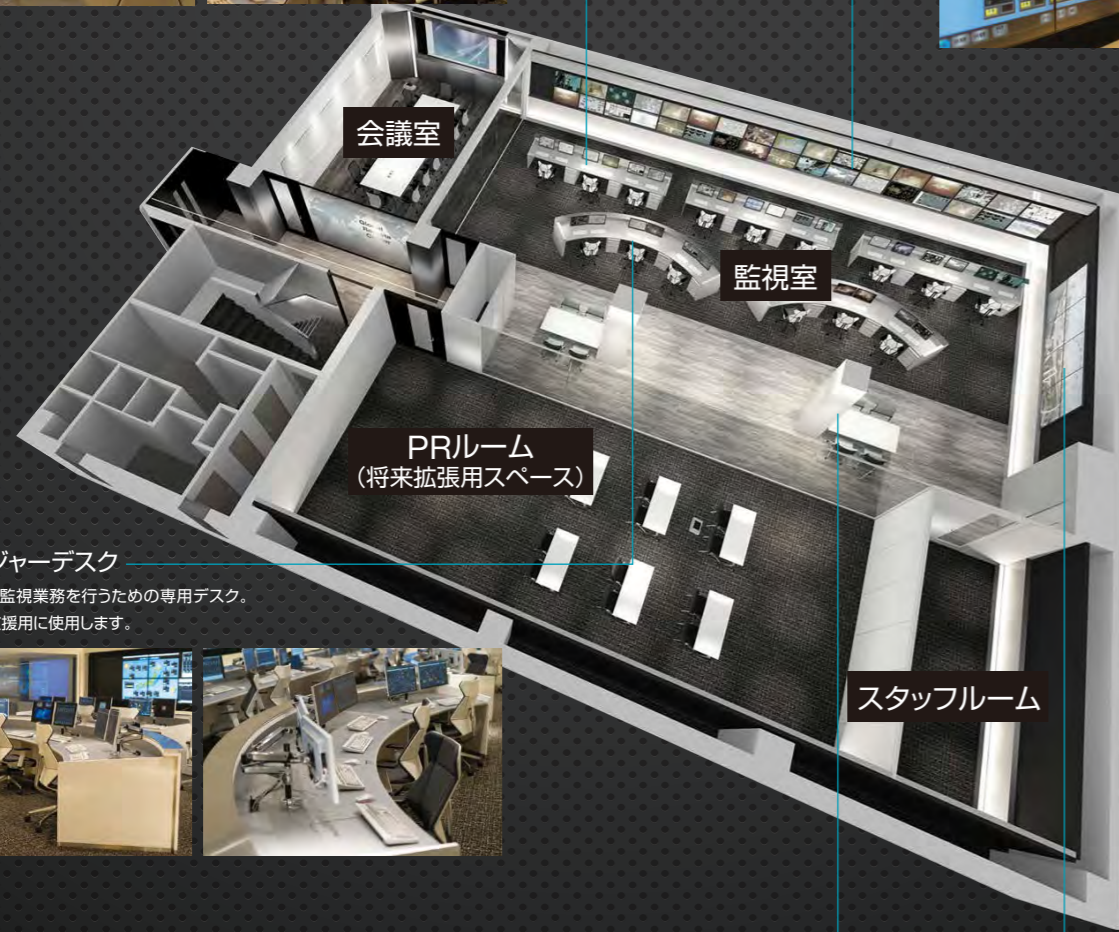


ディスカッションコーナー
スタッフ間での協議や情報共有を行う際に用いるスペースです。



4 大型スクリーン

DCS画面/ITV映像の表示の他、複数の設計者が集まり、緊急対策協議を行う場面でも活用されます。



DCS : Distributed Control System ITV : Industrial Television

JFE エンジニアリング 株式会社

横浜本社

〒230-8611 横浜市鶴見区末広町二丁目1番地

DX本部

dx-info@ml.jfe-eng.co.jp

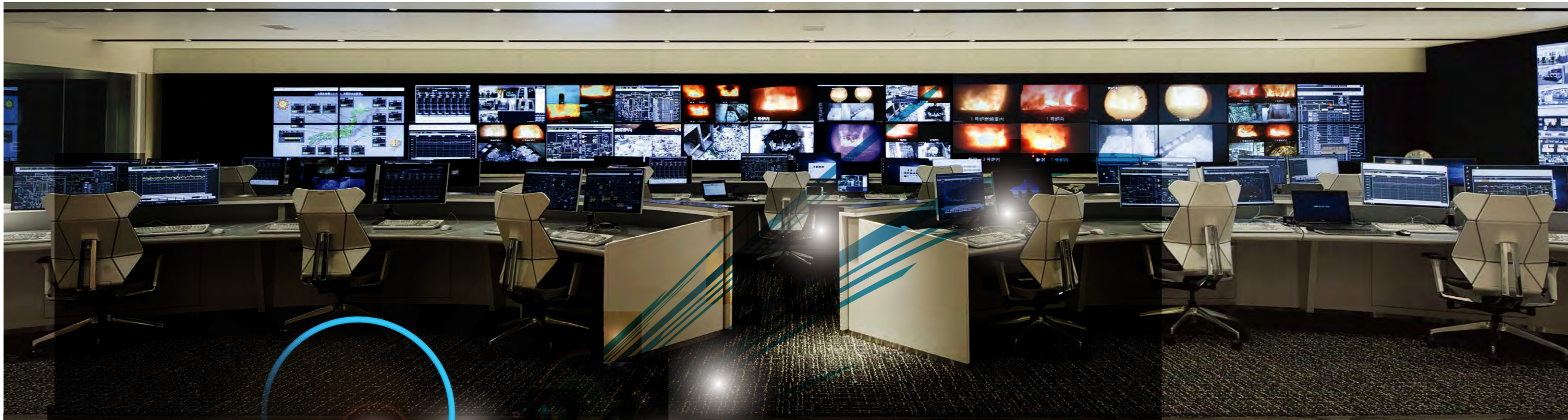


JFE エンジニアリング 株式会社

様々なプラントの監視・操業支援をトータルに担う、
次世代の遠隔監視拠点「グローバルリモートセンター」

Global Remote Center

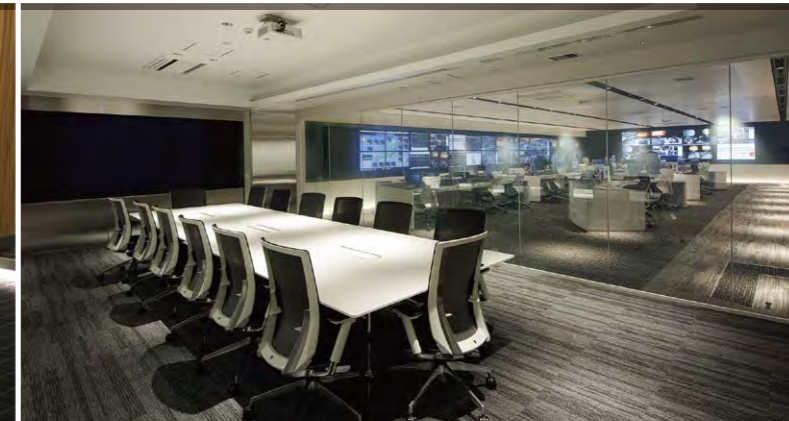
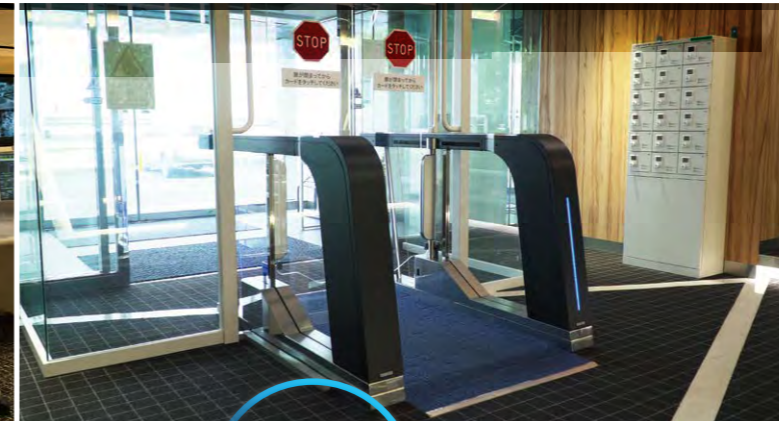
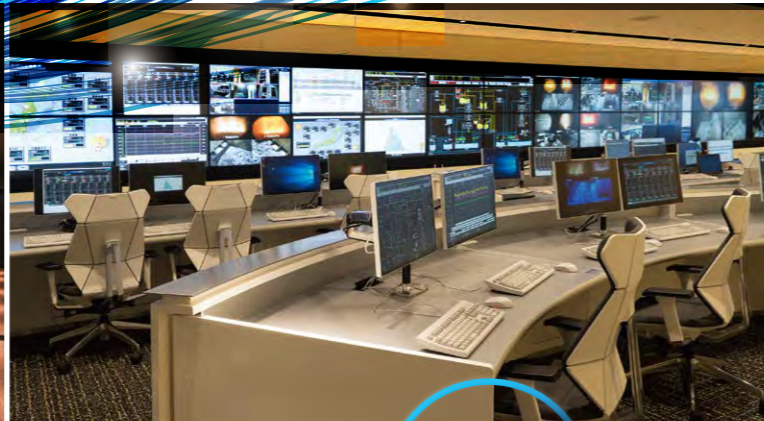




プラント遠隔監視は新たなステージへ

Global Remote Center

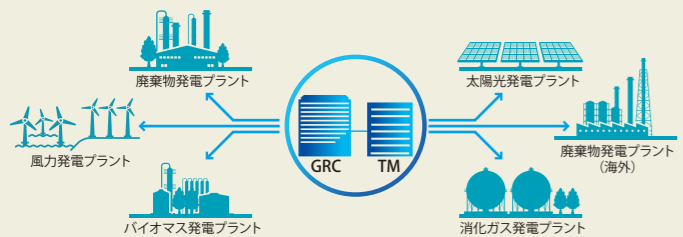
「グローバルリモートセンター (GRC)」は、JFEエンジニアリングが手がけてきた国内外プラントのリモートサービスの集約と機能強化を図るため設立されました。独自に培った高度なリモート技術をはじめ、先進のAI/ビッグデータテクノロジーを活用し、付加価値の高いソリューションを提供します。



グローバルリモートセンターの特徴

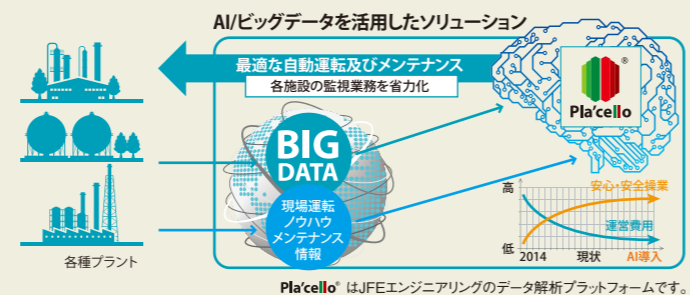
国内外プラントの遠隔操業・保守の統括拠点

プラントの中央制御室と同様の監視・操作機能をGRCに実現。廃棄物発電プラントやバイオマス発電プラント、太陽光発電プラントなど、国内外のプラントの遠隔監視・操業支援・保守サービスを統一的に行います。また、海外プラントの操業支援については、JFEテクノマニラ(TM)にGRC分室を設置、迅速な障害復旧のサポートを担います。



先進のAI(人工知能)/ビッグデータソリューションを提供

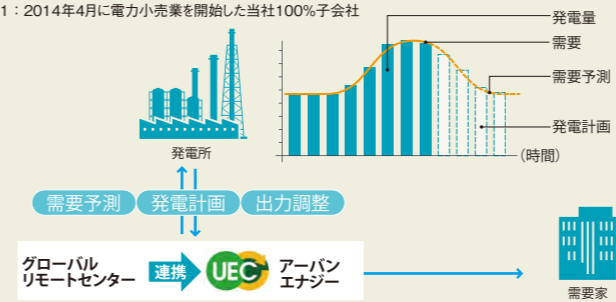
GRCはAI/ビッグデータ基盤を備えた、次世代のプラント監視拠点です。AIとビッグデータ解析を活かした最適操業、設備診断、自動運転、予兆診断に基づくトラブルの回避や迅速な不具合対応など、多様なソリューションを提供します。



アーバンエネルギーと連携、需給運用をサポート

グループ企業の新電力「アーバンエネルギー^{※1}」と連携し、各発電プラントでの発電計画や実績をオンライン化。タイムリーな需給運用をサポートします。

※1：2014年4月に電力小売業を開始した当社100%子会社



適切なセキュリティ対策の取り組み (ISMS認証取得)

社会インフラを支える拠点として、GRCではサイバー攻撃などの脅威に対応するため、国際標準ISO/IEC27001に準じたセキュリティ認証 (ISMS認証^{※2}) を取得し、日々改善に努めています。このセキュリティマネジメントシステムの運用を通じて、情報セキュリティリスクの管理と対策を継続的にを行い、安心してご利用いただける遠隔運転支援サービスの提供に取り組んでいます。

※2：Information Security Management System/情報セキュリティに関するマネジメントシステム

